

広報資料

【問い合わせ先】

呉海上保安部交通課長 伊藤

0823-22-0999



令和5年7月11日

## 令和5年4月～6月の海難発生状況（速報値）

～自分の命を守るためにも救命胴衣を必ず着用しましょう～

呉海上保安部管内における令和5年4月～6月の海難発生状況は、船舶海難5件7隻（死者なし）、人身海難6件6人（死者4人）となっています。

参考：広島県内の海難発生状況は、船舶海難10件13隻（死者なし）、人身海難16件16人（死者6人）となっています。

### ➤ 海難の内訳【海難事例は別紙参照】

**船舶海難** 5件 7隻（死者なし） /前年同月 12件 13隻（死者なし）

**人身海難** 6件 6人（死者4人） /前年同月 5件 5人（死者4人）

### ➤ 海難防止のポイント

今期は、狭水道において内航船が関与する衝突・乗揚げが各1件発生していること、また、人身海難6件中、65歳以上の高齢者による海中転落が5件5人（死者4人）発生していることから次の点を重点に呼び掛けます。

#### ・ 見張りの徹底！

内航船の運航において、厳重な見張りの実施、狭水道を含む航行予定海域の事前の水路調査等の徹底について安全指導を行います。

#### ・ 慎重な行動！

高齢者は、加齢により身体能力が低下する傾向があり、躓きやすくなることで転倒して海中転落するリスクが高まることから役場の福祉関係課とも連携のうえ、慎重な行動及び複数人での行動を心掛けることについて安全指導を行います。

#### ・ 救命胴衣の着用！

これから、夏本番となりマリレジャーや海辺での活動が活発化することに伴い、海中転落などの事故の発生が懸念されることから、自己救命策の基本である救命胴衣の着用について安全指導を行います。

※本広報における数値は速報値であり、今後の調査結果により変更する場合があります。

## 海 難 事 例

## ■船舶海難

## 【事例1】（衝突）

発生日 令和5年6月6日（火）夜  
発生場所 広島県呉市早瀬瀬戸南西方海域  
事故船舶A プッシャーバージ（136総トン）  
事故船舶B 小型船（長さ11.9メートル）  
事故概要 Aは、呉港から徳山下松港向け航行中、Bは、岩国市柱島から呉港向け航行中、行き会いで衝突したものの。（原因調査中）

## 【事例2】（乗揚げ）

発生日 令和5年6月20日（火）夜  
発生場所 広島県呉市早瀬瀬戸南方海域  
事故船舶 タンカー（749総トン）  
事故概要 タンカーは、大阪府堺港を出港し、広島県広島港向け航行中、発生場所に設置されたかき筏群に乗揚げ、筏を損壊したものの。（原因調査中）

## ■人身海難

## 【事例1】（海中転落）

発生日 令和5年5月7日（日）夜  
発生場所 広島県江田島市小用港  
事故者 男性（80代）  
事故概要 事故者は、発生場所付近に設置された生簀から、市場に卸す漁獲物を棧橋に移動させる作業中に誤って海中転落したものの。  
（救命胴衣未着用）

## 【事例2】（海中転落）

発生日 令和5年6月10日（土）夜  
発生場所 広島県呉市蒲刈大橋南方の岩場  
事故者 男性（70代）  
事故概要 事故者は、発生場所において磯釣り中に誤って海中転落し、後に遺体となって発見されたものの。  
（救命胴衣未着用）